

みんなあつまれ!

地域図書室 わーくる だより



●おはなし会を開催します!

本年度もおはなし会の読み聞かせを毎月行います。

絵本のほかにエプロンシアター、大型絵本、手遊び、うた、パネルシアターなどもあります。幼児向けのおはなし会ですが、どなたでもご参加ください。



▶会 場 地域図書室「わーくる」

▶日 時 5月23日(日) 午前11時～午前11時30分

※おはなし会を行う時間帯は、一般利用者の室内フリースペースの使用を制限させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

※わーくるでは奇数月に、朝市ふれあい館では偶数月におはなし会を行います。

●新着図書の紹介

- ◆しゃっくりがいこつ/マージェリー・カイラー著
- ◆おともだちになってくれる?/サム・マクプラットニイ著
- ◆いちばんやさしい ゆび編みの小もの /日本ヴォーグ社 (出版)
- ◆丸林さんちのヴィンテージスタイルな家具と庭づくり /丸林さんち著
- ◆ボールペン字の上品な書き方/浅倉龍雲
- ◆伝え継ぐ日本の家庭料理 シリーズ /日本料理学会 (企画・編集)

●「わーくる」の開室時間

- ▶平 日 午前11時～午後7時
 - ▶土日祝日 午前9時～午後5時
 - ▶休 室 日 毎週火曜日
- ※祝日と重なった場合は、翌日が休みとなります。



お問い合わせ 町教育委員会生涯学習課 (☎852・4411)

消防車の救急支援活動 「PA連携」を実施しています

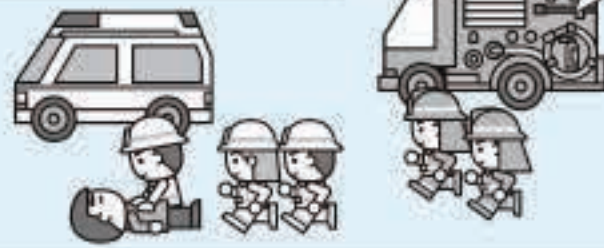
PA連携とは、消防車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が連携して救急活動を行うことです。

町消防署では、一刻も早い救命処置が必要な場合や、建物内などから傷病者の搬出が困難な場合など、救急隊だけでは活動が困難な際に備え、救急車と同時に消防車も出動し、連携して救急活動にあたっています。

救急車を呼んだ際に消防車も来るがありますが、救命率の向上と安全のため、消防隊の救急隊支援活動 (PA連携) にご理解とご協力をお願いします。

救急隊と消防隊が協力して、より迅速に対応できるようにしています。

消防隊も来たよ!



お問い合わせ 町消防署 (☎852・2028)

がんばる人にまわす (敬称略)

第9回男鹿潟上南秋地区 新人バスケットボール大会

◆女子の部

- ▶第1位 五城目女子ミニバスケットボールスポーツ少年団

潟上カップ 小学生バレーボール交流大会

◆Bブロック

- ▶第1位 五城目スマイリーズ

広告掲載募集中!

広報「ごじょうめ」へ広告を掲載しませんか?

▶サイズと料金

- たて4.5cm×よこ18.0cm・・・12,000円
- たて4.5cm×よこ9.0cm・・・6,000円
- たて4.5cm×よこ6.0cm・・・3,600円

▶締め切り 発行日の1か月前まで

※お申し込み・お問い合わせは 町まちづくり課(☎852・5342)まで

ふるさと五城目会

五城目町との縁

五城目町の皆様、ふるさと五城目会の皆様、こんにちは。簡単な自己紹介とふるさと五城目会への入会経緯などを説明します。

私の父は五城目町出身、母は隣の八郎潟町出身です。未就学時から五城目町を離れたので、五城目町には小・中学校、高校などの同窓生はいません。当時の五城目町で覚えていることは、廃線となった五城目宮林署中津又森林鉄道線の撤去されたレールが現在の共同墓地南側に真っ赤に錆びて積み重なっていた風景です。父から奥山で切り出した木材を森林鉄道で搬出した話を聞いていたので、今でもはつきりと記憶に残っています。

小学生になってからは、夏休みに毎年のように墓参りに赴いていました。就職後は、墓参りの機会も少なくなりましたが、五城目町に関心を持ち続けており、遠く離れた今の居住地でも秋田県内所在の民放ラジオ局放送を聴くことができるため、休日にはニュース番組を聴取して、五城目町や秋田県のできごとを把握し続けています。



五城目町までを目標に体足を鍛えています。

思い、お仲間に加えていただくことになりました。ごく少額ではありますが、五城目町ふるさと愛郷寄附にも取り組んでいます。

平成30年と令和元年には、ふるさと五城目会の総会に出席しました。知人皆無の中でも共通する「五城目町出身者」ということで会話も弾み、会話の中で、親戚同士であることが分かったり、初対面の方の知人が私の知人であったり……驚くとともに世の中の狭さを実感し、これまで縁を感じました。今後この縁を大切にして、五城目町そしてふるさと五城目会の発展に向け、できる範囲での活動に取り組みしていきたいと思っています。

終わりに、コロナ禍が一日も早く収束し、平穏な日々が訪れますこと、また五城目町の益々の発展を心から祈念申し上げます。

伊藤 安史

ごじょうめの 文芸

一短歌一

若草の寒風山の上に浮く
くらげにも似るパラグライダー
浦横町 大宮 一郎

一輪の梅開きたり一輪の
白さに朝の日が輝けり
大川 小宮 正明

庭の辺に水仙数多つほみ抱き
青々と伸び日々風揺らす
大川 工藤 誠子

早春の木々は今だ目覚めぬに
裏山の杉花粉を飛ばす
岡本 大石 政子

一俳句一

葉に寄ればさつと見張りの燕来る
湯ノ又 畑沢タマ子

建国日夜紋を正す事も無く
高崎 館岡 絢

笹巻きを家族でつくる幼き日
雀 館 村上ハツ子

一川柳一

楽しいと感じてこそその勉強だ
広ヶ野 佐々木涼弥

八十路坂ころばぬように気をつけて
脇 村 伊藤美佐子

赤ちゃんの握り拳に入りた
矢場崎 鈴木さくら

惜しまれて身を退く愛の花明かり
新里町 加藤 円心